

よりよい環境と住みよい地域、
豊かな社会づくりに貢献しています。

地域・社会貢献にかかるとる取組み

協同組織の理念である「相互扶助」

「共生」を念頭に、国内外で地域に

根ざした活動を展開しています。

「花いっぱい運動」の全国展開

当金庫では、地域における人と自然と産業の豊かな調和、自然環境の保全、街の美化・緑化を願い、昭和40年代より「花いっぱい運動」を各店舗で展開しています。平成19年度は32の支店・事務所等において地方公共団体、小・中学校、養護学校などへ、チューリップの球根、花の種、苗木等の寄贈、花や緑に関するコンクールやイベントへの協賛、園芸教室の開催を実施し、地域の緑化推進、環境保全に積極的に取り組んでいます。



宇都宮支店チューリップ球根贈呈式



本店での花市

環境美化活動への参加・協力

街頭および河川敷の清掃ボランティア活動への参加（熊本・鹿児島支店）、（財）富士山をきれいにする会への寄付活動（甲府事務所）、緑化を推進するグリーンバンクへの寄付（盛岡支店）など、支店ごとに積極的に地域の環境美化活動に取り組んでいます。

各種募金等への協力

当金庫は、日本赤十字社への募金、社会福祉法人 東京都共同募金会の赤い羽根共同募金、（財）漁船海難遺児育英会が海難事故被害者の子弟に対して支援を実施するための募金活動、さらには農漁協系統団体と連携してNHK歳末たすけあい・海外たすけあい運動に協力するなど、幅広い義援金活動に取り組んでいます。



NHK歳末たすけあい運動



漁船海難遺児育英資金年末募金への協力



支店全職員が参加した「クリーン熊本2008」

支店における各種寄贈活動

当金庫では、「花いっぱい運動」を通じた寄贈以外に、地域における交通安全や文化・教育、社会福祉への貢献を願い、県や市町村に「ランドセルカバー」や「図書袋」、「車椅子」などを寄贈し、地域のみなさまにご活用いただいています。

〈海外での取組み〉 NY支店の「農林中金基金」

当金庫は、ニューヨーク支店開設10周年を記念して、平成6年に「農林中金基金」を創設しました。以後、この基金の運用益を自然保護や教育文化事業などの活動を目的とする団体に寄付しています。

平成19年度は、メトロポリタン美術館、カーネギーホール、リンカーンセンター、MOMAなどの教育文化事業団体のほか、ニューヨーク植物園やジャパン・ソサエティの環境・教育プログラムに対する寄付を行いました。



Photo by Talisman Brolin



ランドセルカバー

環境・自然保護にかかる取組み

地球温暖化防止や生物多様性保全の各種活動に協力するほか、地球温暖化防止国民運動「チーム・マイナス6%」の運動にも参加しています。

間伐材の利用促進

▼ペレットストーブやベンチなどの寄贈

当金庫の長野推進室・山口推進室では、間伐材の利用を促進するため、木質ペレットを燃料とするペレットストーブの寄贈先を公募し、公益性などを勘案したうえで小・中学校や福祉センターなどへ寄贈しています。木質ペレットは、間伐材などを利用して作る木質バイオマス（再生可能な生物資源）の一つで、その活用は地球温暖化防止につながるものとして期待されています。

また、これまでも盛岡、仙台、水戸、松江の各支店・推進室では、間伐材の利用促進のため、県内産間伐材を使用した木製テーブルやベンチなどを寄贈しており、平成20年度には宇都宮支店が地域イベント「環境フェア宇都宮」に協賛し、組立子どもイスキットを贈呈しました。

▼「木の名刺を使おう運動」

当金庫は、森林資源を有効活用するため、本支店で使用しているコピー用紙やディスクロージャー誌などには環境に配慮した材質のものを利用しています。また、間伐材を利用した名刺を使用する「木の名刺を使おう運動」を展開しています。



ペレットストーブ



THINK GREEN活動への協力

当金庫は、(社)国土緑化推進機構が森づくりへの理解と協力を促進することを目的に行っているTHINK GREEN活動に平成10年より継続して協賛しています。平成19年度は「みんなでふせごう」地球温暖化くーじをテーマに親子が地球温暖化について学ぶラジオ番組の制作・放送に協賛しています。



(財)日本野鳥の会の活動への協力

当金庫は、(財)日本野鳥の会の法人特別会員として、野鳥を中心とする野生生物・自然環境の保護や調査研究・自然をテーマにしたフリーペーパー『Torriino』の発行などの活動を支援しています。また、平成20年度には、野鳥と自然保護の大切さを伝えるDVDを教材として活用してもらったことを目的に、全国10000の小学校に寄贈する事業にも協賛しました。



日本野鳥の会へのDVD寄贈

第32回全国育樹祭への協賛

「育てよう 緑あふれる 日本の未来」をテーマに、参加者による育樹活動を通じて、森林を守り育てていくという活力ある緑の造成気運を高めるため、平成20年10月26日に愛媛県で開催された「全国育樹祭」に、当金庫(松山支店)も協賛し、スギの丸太を用いたベンチを寄贈しました。

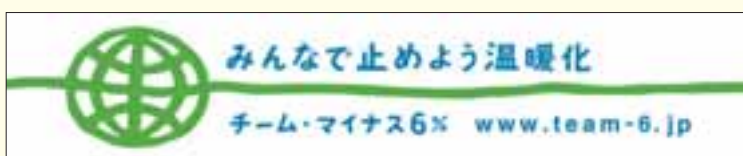
環境負荷低減に向けた 当金庫内の取組み

当金庫は、地球温暖化対策への取組みとして、従来からビル施設更新時における省エネルギー施設への変更・新規導入、季節ごとの室温設定(夏季28度、冬季23度)、営業車のハイブリッド車への切り替え、クールビズ活動(夏季軽装勤務)などを実践しています。

これらの活動をさらに徹底するため、平成19年10月からは地球温暖化防止国民運動「チーム・マイナス6%」に参加しており、平成20年度には以下の3つのテーマでの取組みを強化しています。

① ペーパーレスへの取組み

全社的な紙使用量の削減に向け、前年比10%減を目標に取り組んでいます。



② グリーン適合法適合商品の購入

再生紙をめぐる偽装表示問題発生等を受けて、従来基準の再生紙から、環境省を中心に検討される新基準による環境対象物品への切り替えを促進することとしています。

③ 省エネルギー対策

二酸化炭素など温室効果ガスの排出量が一定以上の本店地区の各拠点ビルを対象に、地球温暖化対策計画書を東京都に提出し、排出量の削減に向けた計画的な取組みを進めています。計画開始期間である平成17年度から平成19年度までの3カ年で、対象拠点における温室効果ガス排出量を合算すると、約7.8%の削減を実現しています。

教育・文化振興にかかるとる取組み

農林水産業・金融に関して、当金庫が蓄積するノウハウを次世代の人材育成につなげる取組みなどを行っています。

(財)伝統文化活性化国民協会への協力

当金庫は、全国各地における伝統文化活動の支援・活性化のために活動している(財)伝統文化活性化国民協会の賛助会員として、日本の伝統文化の振興を支援しています。

支店における取組み

札幌支店による札幌交響楽団への協力、支店ごとの各種絵画コンクール美術展への協賛など、地域に根ざした教育・文化への取組みを支援しています。

大学における教育・研究支援

当金庫は、農林水産業(食料問題、環境問題を含む)、金融および投資に関する教育・研究活動の増進や、関連分野で将来を担う人材育成を支援するため、グループ会社とも連携し、平成20年度より国内の大学での寄付講座を設置する取組みを展開し、4大学で6講座を開設しました。寄付講座には当金庫の役員等が可能な範囲で出講し、本来業務で蓄積した実務知識・ノウハウの提供にも努めています。

大学への寄付講座の設置(平成20年度)

大学名	設置科目
早稲田大学 全学部共通 (北京大学) (注1)	①農山村体験学習 ②食と経済 ③日中農業比較研究
東京大学 経済学部(注2)	証券投資：理論と実践
東京理科大学 工学部(注2)	金融工学入門
慶應義塾大学大学院 システムマネジメント 研究科	アクティブ・ラーニング・プログラム

注1：早稲田大学と北京大学の共同講座として北京大学で開催しています。
当金庫と、中国との関係が深いグループ会社の(株)農林中金総合研究所の共同で講座を設置し、同研究所の職員が出講しています。
注2：当金庫の役員も出講する予定です。